

ネイチャー・ウォーク

令和4年1月
2022.1.16 発行
(通巻第337号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■12月のネイチャー・ウォーク

薄墨の 越生毛呂山 師走道

(東武鉄道川角駅～同駅)

いかにも師走という感じの“しばれる”空の下、ネイチャー・ウォークを開催しました。今回は29名が、川角駅を出発し高麗川沿いを歩きました。だんだん「コロナ前」の人数に戻りつつあり、大変うれしいことです。



坂戸市の愛宕下公園で記念撮影。





日かげは所どころ道が凍っており、少し気を付けながらの出発。まずは高麗川をめざします。

住宅街を抜けると、高麗川の河川敷です。師走らしい冬枯れの景色の中、太陽のぬくもりも少しずつ感じながら歩いていきます。コロナで私たち人間は自然にほんろうされ続けていますが、季節はいつもと変わりなく着実にめぐっていきますね。



とそこに、最近「たまたまそこにいた変なイトミミズおじさん」気取りのスタッフAと遭遇。この日イトミミズは見つからなかったものの、自然の水路で冬眠中のドジョウをつかまえ、みなさんに紹介していました。なんでもこのおじさん、2時間近く前から現場で待ち伏せし、生きものを探しながらみなさんの到着を待っていたそうですヨ。



川に目を転ずれば、そこは冬鳥の宝庫…のはずですが、思ったほど鳥はおらず、「最近まですごく暖かだったから、冬鳥はまだ来ていないんだよ、きっと。」と、みなさん自分に言い聞かせな

がら歩を進めました。





高麗川に架かる冠水橋（洪水時には沈む橋）や住宅団地内の調節池で鳥探し。でもなかなか鳥は姿を現してはくれません。



歩いていて気になったのが、ソーラー発電所の建設現場です。今、県内のあちらこちらでソーラー発電所が増えていきます。確かに再生可能エネルギーの普及は大事だけど、いろいろな場所がソーラーパネルで埋め尽くされるのって、どうなんでしょうね…？



住宅街の公園で、Walk（多く）出現認定証の授与。
今回はお一方。すでに認定証の授与は終わっており、この日は豪華な(?)景品をお渡ししました。おめでとうございます。

今年はコロナの影響で中止になったことが多く、また開催したとしても午前中だけで終わりと、ややもの足りないネイチャー・ウォークとなりました。来る新年が、みなさんにとって、またネイチャー・ウォークにとってもよい一年になることを願ってやみません。

これからもネイチャー・ウォークをよろしくお願いします！